

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和 3 年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議 会第 1 回会議
開 催 日	令和 3 年 1 2 月 2 3 日 (木)
開 催 時 間	午前 1 0 時 0 0 分開会 ・ 午前 1 1 時 4 0 分閉会
開 催 場 所	白岡市役所 4 階 特別大会議室
会 長 の 氏 名	小 峯 昇
出 席 者 の 氏 名・出席者数	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議委員 小 峯 昇、山下 幸一、久保木 孝夫、柴山 利幸 浅井 嘉一、志熊 あさこ、高橋 建男、加藤 良雄 金子 容子、奥野 麦生  1 0 人
欠 席 者 の 氏 名・欠席者数	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議委員 長谷川 敏夫、戸田 正勝  2 人
説 明 員 の 氏 名	(1) 令和 2 年度事業報告について：奥野 麦生 (2) 令和 3 年度事業計画について：奥野 麦生 (3) いきもの調査について：松原 直美 (4) ひこべえの森の在り方について：高橋委員 松原 直美
事 務 局 職 員 の 職・氏名	環境課 課長 大橋 寛枝 環境課 主査 村岡 信義 環境課 主任 松原 直美  3 人
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 令和 2 年度事業報告について (2) 令和 3 年度事業計画について (3) いきもの調査について (4) ひこべえの森の在り方について 4 そ の 他 5 閉 会

配 布 資 料	会議次第
	資 料 1 彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議 会名簿
	資 料 2 令和2年度白岡緑と土の会作業報告書
	資 料 3 令和3年度白岡緑と土の会事業計画
	資 料 4 令和2年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさと の森にかかる消耗品購入一覧
	資 料 5 ひこべえの森いきもの調査について
	資 料 6 彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森の保全管 理に関する報告書（平成24年版）及び図面 要 綱 彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議 会設置要綱

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
村岡主査	1 開 会 会議を開会。 新しく委員となった委員を紹介。
大橋課長	2 あいさつ 大橋課長からあいさつ。
小峯会長	小峯会長からあいさつ。
村岡主査	10月1日付人事異動等による環境課職員紹介。
小峯会長	3 議 題 (小峯会長が議長となり、議事を進行) (1) 令和2年度事業報告について (2) 令和3年度事業計画について 議事(1)「令和2年度事業報告について」、(2)令和3年度事業計画について」、それぞれ関連があるため、一括して議題とする。奥野委員から説明願う。
奥野委員	資料2及び資料3に基づき、事業報告を説明。 令和2年度事業計画については、新型コロナウイルス感染予防のため、活動ができなかった。令和3年度事業計画に基いた活動は、夏が過ぎて活動ができるようになった。令和3年12月に、市、教育委員会、町ぐるみん白岡の共催で、中学生・高校生を中心に、地域ボランティアと協働で「冬の集い」という事業を開催した。参加者数は、中・高生が42名、家族参加者10名、スタッフ等合わせて68名であり盛況であった。以上報告とさせていただきます。
小峯会長	説明内容に対して質問等はあるか。
出席者一同	なし。
小峯会長	資料4 令和2年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森にかかるとる消耗品購入一覧及び 議題(3)いきもの調査に

小峯会長 松原主任	<p>ついて事務局から説明願う。</p> <p>資料 4 及び資料 5 を参照し説明を行った。令和 2 年度ひこべえの森のいきもの調査報告については、新型コロナウイルス感染対策の影響もあり、実績がなかった。</p>
A 委員	<p>資料 5 ひこべえの森のいきもの調査報告について、令和 3 年度上半期の状況を知りたい。</p>
松原主任	<p>残念ながら、上半期の報告はない。</p>
A 委員	<p>さいたま市大宮南部浄化センターで開催された「生き物見つけた」という写真展では、携帯電話で撮った写真を送信することで、簡単に応募できるようにしていた。</p> <p>今年度さいたま緑のトラスト写真・動画コンクールの審査委員を務めたが、インスタグラム等利用したかたが非常に多かった。ひこべえの森のいきもの調査報告についても、今後、インターネット等で簡単に受け付けることを検討いただきたい。</p>
小峯会長	<p>その他に質問等はあるか。</p>
B 委員	<p>資料 4 にある消耗品の管理方法、点検・補修について管理方法を決めておく方が良いのではないか。時々、使用する時になって使えないことがある。</p>
村岡主査	<p>今年 10 月に購入し、12 月 11 日に使用したチェーンソーについては、歯が消耗したため、目立てをし、使用できる状態にして、備品として備えている。鎌等の消耗品については、ベストな状態で使用できるよう事務局で配慮したい。</p>
小峯会長	<p>その他に質問等はあるか。</p>
出席者一同	<p>なし。</p>
小峯会長	<p>(4)ひこべえの森の在り方について</p> <p>議事(4)「ひこべえの森の在り方について」、高橋委</p>

<p>小峯会長 高橋委員</p>	<p>員に説明願いたい。</p> <p>ひこべえの森の測量調査を行い、一覧表と図面（資料 6 - 2）を作成した。ひこべえの森の遊歩道を境に、A 地区から F 地区に区分けし、樹木の位置を図面に落とした。</p>
<p>A 委員</p>	<p>図面にある「目通」とは、目の高さで木の経や周長（木の大きさ）を図ることである。樹種は分かる範囲で記入している。</p> <p>現在 C ゾーンを測っている。夏場は草木が繁茂し、見通しが悪くなるので、落葉し下草が落ち着いてから行なった。樹種は詳しい方に協力いただき記入し、今年度中に終わらせたいと考えている。これは皆様の管理上、参考資料として利用いただきたい。以上である。</p> <p>毎木調査の様なことをなされている。トラスト 1 2 号地においても、測量士の方がいて、同じ様にカシナラの被害木を図面に起こしたことがある。大変なことである。</p> <p>資料 6 - 2 図面の B 区域、真中にある B 9 0 コナラが、カシナラの被害に遭っている。ひこべえの森は、コナラ自体の本数は多くないが、高齢化した大木なのでかなり厳しい感じがする。後程、スライドをご覧くださいと思う。次に事務局から説明を願いたい。</p>
<p>松原主任 小峯会長 B 委員</p>	<p>資料 6 - 1 に基づき説明を行なった。</p> <p>何か意見等はあるか。</p> <p>直接関連することではないが、貴重な緑を守るために森で作業をしている。今、地球環境が脅かされ我々の生活に問題が起きている。そこで、ひこべえの森の保全の目的として、「持続可能な生活を考える。」といった、一歩先を考えることに進めてみたらどうかと思う。</p>

B 委員	<p>先日、「冬の集い」が行なわれた。年少のかなり小さな子どもから、中学生、高校生が参加し、頑張って作業をやってくれた。その中で、子どもたちが何を感じて作業をしてくれたのか、そういったところを一番知りたかった。作業することはいいが、将来の子どもたちが、何を感じどういった行動をしていくのか知りたい。</p> <p>例えば、参加者とディスカッションする機会を設けてみてはどうかと思っている。ただ作業するだけであれば、プロの業者に依頼すればいいことであって、作業することが目的ではないと思う。</p> <p>「土」、「緑と土の会」の「土」が大切であり、財産だと思っている。将来を考えていただき、地球環境を良くするという事に、つなげていければと思う。その辺を、一歩進めた目的をこれから考えていくべきと思う。少し大きな問題であるが、冬の集いに参加して考えた。</p>
小峯会長	<p>せっかくの機会である。委員の皆様から一言ずつ意見をいただきたい。C委員からお願いしたい。</p>
C 委員	<p>先ほどの高橋委員の調査のことであるが、協力させていただきたい。年明けになれば時間の都合がつくので、日程調整していただければと思う。</p>
小峯会長	<p>一覧表を作成いただいたので、データベースとして完成させていただきたいと思う。よろしくお願いしたい。次にD委員にお願いしたい。</p>
D 委員	<p>今の、B委員の話に賛成である。いろいろなことを議題にして、多様な活動につながればいいと思う。資料6-1の8項のところにあるが、過去のものは過去のものとして、「これを守らなければいけない」といったことでないと思う。こうしたことを踏まえて、参</p>

D 委員	<p>加できるかた、さらに良くしていただけるかた、特に次世代のかたには、維持するだけでなく、創造的に活動していただきたい。</p>
A 委員	<p>私もトラスト活動を行なっているが、次世代に伝えるということは、難しいと感じている。新しい方、若い方、60歳は若いですが、トラスト活動も、あと10年すると平均年齢が80代になりそうである。白岡市は、若いかたが多いと思うので、ぜひ若い方に参加いただけるよう、働きかけたいと思う。次にE委員に願います。</p>
E 委員	<p>10年ほど前から活動をしている。残念なことに、今年は日程の都合で「冬の集い」に参加できなかった。市民のかたには、関心を持ってひこべえの森を見つめていただき、親しんでいただきたい。方法は、私も確立できていない。かつて、ひこべえの森でコンサートを開催したことがあった。非常にいい雰囲気であったと、記憶している。先ほどからでているが、子どもさんたちに、季節の良いときに尋ねて行って、そこで自然を発見していただきたいと思う。私は年を重ねてから、ふるさとの森でイチリョウ、マンリョウ等草木のことを学んだ。身近な自然が、今ここにある。</p> <p>森は、大事な教科書だと思っている。活動になかなか参加できず申し訳ないが、今後、皆様の力をお借りして、自分も思考錯誤しながら参加したいと思う。</p> <p>来年度の「冬の集い」の開催予定日は何時頃か。</p>
奥野委員	<p>令和3年度は終了している。令和4年度は、予算等が確定していないが、例年12月の2週か3週の土曜日に開催している。</p>
小峯会長	<p>次に、F委員にお願いしたい。</p>
F 委員	<p>身近な場所に、とても貴重な森がある。市民のかた</p>

F 委員	にどのような活動であれば参加いただけるか、難しい課題であると思う。広報活動等を活用し、市民のかたに貴重な森を知っていただきたいと思っている。今後ともよろしくお願いしたい。
小峯会長	次に G 委員にお願いしたい。
G 委員	参加は、今回で 2 回目になる。目的が小・中学生の学習ということであれば、参加者や保護者にアンケートをお願いし、意見を聞くといいのではないか。小学校だけでも数校かあると思う。
小峯会長	例えば、樹木名が分かったら樹木札をつけておくと、きた子どもは気がついて名前を覚えることができる。一度に覚えることは難しいが、何度か来て覚えてくれたらいいと思う。次に H 委員にお願いしたい。
H 委員	初めて参加させていただいた。先日、ひこべえの森を拝見してきた。昔、私が小さいころは、この辺に森がたくさんあった。下小笠原遺跡というよりも、あちこちにあった森が、今、ほとんどなくなってしまった。子どもの頃、木に登ったり、昆虫を取ったりしていたが、森の在りかたについては、あまり考えたことはなかった。本日資料をいただいたので、拝見し、今後のことについて考えたいと思う。
小峯会長	次に I 委員にお願いしたい。
I 委員	初めて参加させていただいた。市内小・中学校の勤務経験がないため、具体的に学校でどのような学習をされているか分からないため、詳しい話はできないが、総合的な学習の時間に学校側が委員の皆様方を、ゲストティーチャーとしてお招きするなどして、子どもたちへの、周知ができると思う。学校教育の中で協力できることがあれば、協力したい。
小峯会長	J 委員にお願いしたい。

J 委員

二つの視点から話したい。まず、整備ボランティアとして、今後メンバーが減っていくことになるのと、活動が難しくなっていくと思われる。現在は、12月に行なわれる「冬の集い」では、中・高生をたくさん集めることができている。家庭教育団体で町ぐるみん白岡と組ませていただいているので、学校の「おやじの会」の方々に参加したいという話をいただいている。今年については、新型コロナウイルス感染症予防の関係で、お断りしている。森でイベント的活動が増えることは良いことだと思う。継続的に整備に関われなくても、イベント現象的にでも、森での活動を経験するのはいいことだと思う。現象的に森がきれいになっているのは、12月に開催される「冬の集い」の活動によるものも大きいので、教育委員会としても、企画を継続したいと思っているところで、環境課においての主体的な取り組みをお願いできないかと考えている。

もう一つ、行政側からの提言として、例えば本日の会に第2次白岡市環境基本計画に関する資料がでていない。あるいは現在、市の総合振興計画が改定されているが、それに対して、この森をどのような位置づけにしようと思っているのか。そういうところの話が、全くでてきていない。

そこを考えると、ボランティア団体としてどんな協力ができるのかと考えると、筋書きがでてこない。それでは、机上の空論で終わってしまうと思う。第2次白岡市環境基本計画には、どういう風に位置付いている、考えているのか、環境課がどういう風にしたいのかという意見が全く出てこない中で、市民がどんな関わり方をしていくのか、というのは果たしてどうかと、疑問を感じている。

J 委員	<p>学び支援課としては、年5、6回の自然観察の企画をしている。そのうちの一つが「ひこべえの森の集い」にあてられている。環境保全、環境教育で取り組んでいるのは、特別「ひこべえの森」の保全に取り組んでいるのではない。環境授業の手法として取り入れている。そのうちひとつの事業の会場をふるさとの森にあてているにすぎない。私どもが取り組んでいる仕事は、必ずしもふるさとの森の保全管理が眼目ではない。そのあたりを履き違えていただいては困る。これからも、協力体制を構築して、意思疎通をはかったうえで、方向性というものをしっかりと打ち出したうえで、事業に取り組んでいく必要があるのではないかと考えている。</p> <p>また、個人的な話で恐縮であるが、この3月で定年退職を迎える、この後、学び支援課代表という形で、参加することは無くなるので、そのところをお含みいただければ、うれしいと思う。以上。</p>
小峯会長	<p>J委員の意見に対して、環境課として何かお答えすることはあるか。</p>
村岡主査	<p>多種多様の意見をいただいた。生涯学習の一環と、環境的教育啓発をして活動していくのでは違うので、学び支援課と連携を蜜にしながら、より意義のあるイベントにしたいと考えている。また、御指導いただくこともあると思う。皆様の意見を聞きながら、より、発展的な対応をしていきたいと思う。以上。</p>
A 委員	<p>先ほども伝えたが、ボランティアの担い手が不足している。どんなことをやれば良いのかわからないが、ボランティア活動、トラスト協会や県と意見交換しながら、運動している。白岡市においても、J委員の意見を参考にしながら、長い目で見て、保全していくこ</p>

A 委員	<p>とを考えていただき、有意義な保全活動できるように。多くの方に知っていただいて、せっかく県から譲っていただいた森であるので、この先末永く活動していただきたい。よろしくお願ひしたい。</p>
小峯会長	<p>他に何かあるか。</p>
B 委員	<p>今年度、新型コロナウイルス感染対策のため、活動ができなかった。本日は、さまざまなディスカッションができた。このように自由に話せる会議が、少なくとも年4回くらいできればと思う。有志だけでもかまわないので、集まりを頻繁に持ちたいと思う。雑談の中から良いアイデアは出てくる。森のことは、森に聞けという。最近読んだ本によると、サンスクリット語で森のことは「サヤ」という。森というのは「学校」という意味だと聞いた。そういった意味で、森のこと、環境を学ぶには、森に行きなさいということではないかと思う。そのため、枯葉や落葉を拾い、森を整備することが目的ではない。目的の一つではあるが、最終的な目的ではない。最終的には、子どもたちに将来の環境を学び始める、ひとつのきっかけにさせていただくと良いと思っている。子どもたちを含めて、こういった集まりを年に数回やっていければと思っている、</p>
小峯会長	<p>これでよろしいか。他に無ければ、議事が終了した。以上で議長の職を下りる。私の肩書きが変わっている。後で名刺をお渡しする。今年、NPO法人の会長はJ委員に変わっている。</p>
5	<p>その他</p>
村岡主査	<p>その他として、A委員からひこべえの森のナラ枯れ被害の状況について、説明がなされる。</p>
A 委員	<p>資料「ナラ枯れについて」に基づき、トラスト保全</p>

A 委員	<p>緑地のナラ枯れ被害について説明。</p> <p>カシノナガキクイムシによる樹木の伝染病、ナラ枯れ被害の実物を回覧するので、ご覧いただきたい。</p> <p>ふるさとの森のナラ枯れの被害箇所は、図面 B 区域の B 9 0 である。ふるさとの森のコナラは、できれば、伐採したほうがいい。枯れて枝が落ちると、人的な被害がでる可能性が高い。</p> <p>森が若返るのは良いことである。何本かまとめて切ることにより、経費の割合が安くなる。伐採後チップ工場に持ち出しするか、場合によっては廃棄する方法もある。今後、コナラは植えないほうがいい。クヌギは、ムシがあまり入っていない。樹種を混ぜるほうがいいので、ケヤキ、エノキ、ムクの木などを植えると良い。</p> <p>質問あるか</p>
B 委員	<p>ナラ枯れは、6 年前栃木県で大発生し、かなり伐採した。どのようなスピードで広がっているか。</p>
A 委員	<p>西風で広がっている。埼玉県では 2 年前に所沢で発見されている。東京は、それより前になる。静岡、神奈川に関しては 4、5 年前になる。太平洋側が急に出てきた。太平洋側と日本海側では系統が違う。クイムシは、基本的に枯れた木に入る。カシノナガのように生きた木に入る例は、世界的に見ても多くないという話を聞いている。</p> <p>質問などあるか。</p>
D 委員	<p>20 年前から戦っている地域があるが、経過や対応方針等について知りたい。10 年、20 年単位で、この先の想定などあるか。</p>
A 委員	<p>関東地方は、非常に広い平野である。このような平地の雑木林は、他になかった。他は山地であるため、</p>

A 委員	<p>コナラだけでなく、様々な種類の木が生えている。コナラが枯れても、他に木があるので、全体としてあまり影響がなかったのかもしれない。</p> <p>丘陵地帯で枯れた場合、登っていけない。平野であれば木を切れるが、急峻なところに木が生えていると、簡単に切れない。里山では、埼玉県の場合、小川、狭山など丘陵地帯がある。その地域では、なかなか山に入れない。木が枯れても、木を放置することになり、コナラが枯れてお仕舞いになる。その後、次のコナラが育って、30年ぐらい経つと、また、カシノナガが入り易くなる。</p> <p>逆にいうと、20年以上の生育したコナラはあまり無かったといえる。昔からカシノナガは生息していたが、カシノナガが入って生活しやすい、大きな木がなかったので、被害が広がらなかった。</p> <p>それがじわじわと、餌になる物があって、広がった。1934年に南九州で、被害が確認されていた。戦前から分かっていたが、あくまで例外的だった。大きなコナラがなかったので、被害が少なかった。</p> <p>これからの状況として考えられるのは、関東は平地にコナラが多いので、被害が広がっていくことである。今までの経験が、生かされない可能性がある。</p>
J 委員	<p>一つ伺いたい。ヨシブエの進入については、ある程度見ていた。ヨシブエも、生きている木に入って、ナラ菌を広げるという意味では、同じなのか。</p>
A 委員	<p>ナラ菌を持っていないが、弱った木に入るらしい。カシノナガが入った木が分かるのか、弱った木に入って、広がっていくと聞く。場合によっては、カシノナガが入らないことも考えられる。埼玉県の緑のトラスト9号地では、枯れた木の原因が、ヨシブエでないこ</p>

A 委員	<p>とが分かった。我々の一般的な知識では、カシノナガが入って木が弱る。場合によっては、弱った木にヨシブエが入ることもあるらしい。</p> <p>また、専門家は、カシノナガもヨシブエも区別する必要は無く、木が枯れてしまうので、早く切るしかないという見解だと聞く。</p>
J 委員	<p>今、大里群域では、転々とナラ枯れが見えている。基本の原因は、ヨシブエのようだ。ヨシブエが単体で入ったときにどのようになっていくか。聞いた話だと、カシノナガの移動能力が、年間3キロくらいだろうと言われている。回りに枯死木がない中に、ぱっと一本入ってくる、ナラ枯れの木が見られた。フラスや穴を見ても、恐らくヨシブエであろうと思っているような状況である。ヨシブエ単体で、ナラの木を枯らす力がどれだけあるのか。ということについて、気になっている。</p>
A 委員	<p>弱った木を選んで入るのであれば、ヨシブエ単体で、枯れることがあるかもしれない。何故、これだけ被害が広がったのかという話がある、数年前、台風で木が倒れた。誘引素材の一つは集合フェロモンである。もう一つは、切ったコナラのおいである。アルコールこの辺がカシノナガを誘引するらしい。台風で木が倒れたことが、カシノナガを広げる原因の一つになったと、専門家は考えている。もしかすると、飛んできた物が入って、一度に広がってしまった可能性がある。穴が直計5ミリ程度なので、広がるスピードはそんなにないが、風で飛ぶことは考えられる。ひこべえの森の周りに、雑木林はあまり見られないが、とんでくることは考えられる。上尾市のトラスト12号地、運動公園等に被害があり、どこからか来るのか分からない</p>

A 委員	<p>が、風より相当な距離を移動することは考えられる。西風に乗って東に移動することが、現在の研究で分かっている。</p> <p>結論として、被害に遭った木は、伐採したほうが良い。まとめて伐採した方が安い。数は多くないのでできると思う。伐採後、コナラは植えないほうが良いと思う。クヌギは虫が入りにくい。12号地は入っていない。以上である。</p>
B 委員	<p>提案であるが、県立公園や公共施設には、ビジターセンターがある。それと比較することはできないが、地域に森を紹介できるような、常設のコーナーのような物を作ることはできないか。一番小さいもの。極端なことをいえば、少し大きめなパネルに、簡単なサンプルのような物。図書館の中や、そういったところに常設の施設として、森の紹介をすることはできないか。例えば、このような活動をしているとか、ボランティアを集めている等、広報となるコーナーを作ってみてはどうか。</p>
村岡主査	<p>即答できないが、どのような対応ができるか調査して検討したい。</p> <p>他に何かあるか。</p>
出席者一同	なし。
村岡主査	<p>6 閉 会</p> <p>会議を閉じる。</p>
以 上	